

ゆかりの地リスト

各ゆかりの地の詳細はこちらのQRコードで確認できます。



深谷市

- 1 旧渋沢邸「中の家」
深谷市血洗島247-1
☎048-587-1100 (渋沢栄一記念館)
- 2 晩香渋沢翁招魂碑・先祖渋沢氏招魂碑・渋沢平九郎追懐碑
深谷市血洗島247-1
- 3 青淵由来之跡の碑
深谷市下手計1241
- 4 渋沢青淵翁喜寿碑
深谷市血洗島117-6
- 5 青淵公園
深谷市下手計1241
- 6 諏訪神社
深谷市血洗島117-6
- 7 渋沢栄一記念館
深谷市下手計1204
☎048-587-1100
- 8 尾高惇忠生家
深谷市下手計236
☎048-587-1100 (渋沢栄一記念館)
- 9 藍香尾高翁頌徳碑
深谷市下手計1145
- 10 鹿島神社
深谷市下手計1145
- 11 水藩烈士弔魂碑
深谷市血洗島地内
- 12 帰去来辞詩句碑
深谷市仲町20-2 (深谷公民館敷地内)
- 13 可堂桃井先生碑
深谷市北阿賀野地内
- 14 誠之堂
深谷市起会110-1 (大寄公民館敷地内)
☎048-577-4501 (深谷市文化振興課)
- 15 清風亭
深谷市起会110-1 (大寄公民館敷地内)
☎048-577-4501 (深谷市文化振興課)
- 16 日本煉瓦製造株式会社 旧煉瓦製造施設
深谷市上敷免28-10ほか
☎048-577-4501 (深谷市文化振興課)

あかね通り

- 17 深谷駅～旧煉瓦製造施設
- 18 JR深谷駅
深谷市西島町3-1-8
- 19 岡部藩陣屋跡
深谷市岡部1201
☎048-577-4501 (深谷市文化振興課)
- 20 岡部六弥太忠澄墓
深谷市普濟寺811-1
☎048-577-4501 (深谷市文化振興課)
- 21 華蔵寺
深谷市横瀬1360
☎048-587-2145
- 22 渋沢栄一翁ふるさと館OAK(オーク)
深谷市西島町2-18-20
☎048-514-2509 (代表)

熊谷市

- 23 愛染堂
熊谷市下川上32
☎048-536-5062 (熊谷市立江南文化財センター)
- 24 妻沼聖天山
熊谷市妻沼1511
☎048-588-1644
- 25 集福寺
熊谷市下奈良551
☎048-536-5062 (熊谷市立江南文化財センター)
- 26 元素楼跡
熊谷市玉井1468
☎048-536-5062 (熊谷市立江南文化財センター)
- 27 秩父道しるべ
熊谷市石原「かめのみち公園内」
☎048-536-5062 (熊谷市立江南文化財センター)
- 28 片倉シルク記念館
熊谷市本石2丁目135
☎048-522-4316
- 29 星溪園
熊谷市鎌倉町32
☎048-536-5062 (熊谷市立江南文化財センター)
- 30 秩父鉄道
熊谷市曙町一丁目1番地(本社)
☎048-523-3313
- 31 長島記念館
熊谷市小八林1022
☎0493-39-2025 (公益財団法人長島記念財団)
- 32 根岸家長屋門
熊谷市青山152
☎048-536-5062 (熊谷市立江南文化財センター)

本庄市

- 33 農村ミュージアム「かねもとぐら」
本庄市児玉町小平653 (本庄市観光農業センター)
☎0495-72-6742
- 34 茂木小平翁頌徳碑
本庄市千代田3-2
- 35 塙保己一記念館
本庄市児玉町八幡山368 (アスパシアこだま内)
☎0495-72-6032
- 36 塙保己一公園内の保己一の墓と記念碑
本庄市児玉町保木野322
- 37 旧本庄商業銀行煉瓦倉庫
本庄市銀座1-5-16
☎0495-71-6685
- 38 旧本庄仲町郵便局
本庄市中央1-8-2
- 39 競進社模範蚕室
本庄市児玉町児玉2514-27
☎0495-71-1121

美里町

- 40 秋蚕の碑
美里町木部468-1
☎0495-76-0204 (美里町教育委員会事務局生涯学習係)
- 41 美里町ブルーベリー観光農園
美里町内
☎0495-76-5133 (美里観光農園の会(美里町農林商工課内))

神川町

- 42 木村豊太郎君之碑
神川町大字二ノ宮751 (金鑽神社境内)

上里町

- 43 岩田忠一郎像
上里町金久保1034-1 (金窪(金久保)神社境内)

寄居町

- 44 今井屋
寄居町大字寄居1236-1
☎048-581-0464

近代日本経済の父

渋沢栄一

ゆかりの地 ガイドマップ

埼玉県
北部
エリア



渋沢栄一

しぶさわ えいいち

天保11年(1840)に旧血洗島村(現深谷市)に生まれました。
近代日本経済の父といわれ、第一国立銀行をはじめ、約500もの企業の設立・育成に関与しました。また約600もの社会公共事業、福祉・教育機関の支援と民間外交にも熱心に取り組み、数々の功績を残しました。



7 渋沢栄一記念館

栄一の祥月命日である平成7年11月11日に開館しました。資料室には栄一ゆかりの遺墨や写真などが展示されています。多目的室では、栄一に関する映像を見ることができます。また、講義室には生誕180年にあたる2020年に誕生した“渋沢栄一アンドロイド”があり、「道徳経済合一説」についての講義を聴くことができます。

渋沢栄一と並ぶ 埼玉三偉人

盲目の国学者 塙保己一

はなわ ほきいち



本庄市出身。7歳で病により失明してしまいます。世のため後のためになることをしたいという思いから、全国に散らばっていた多くの古い記録や史料を集めて分類・整理を行い、41年をかけて666冊に編纂・刊行するという大事業を成し遂げました。これが「群書類従」であり、現在でも日本文学・歴史等を研究するうえで欠くことのできない重要な資料となっています。
また、栄一は保己一の残した文化遺産を後世に伝えるために設立された温故学会の賛助会員となっています。版本を保存するための会館建設時にも協力しており、開館式典では、式辞を述べています。栄一の尽力によって、「群書類従」の1万7千枚を超える版本が現在も保存されています。

35 塙保己一記念館

記念館では塙保己一の遺品及び関係資料(埼玉県指定文化財)を収蔵・展示し、保己一の残した偉業について紹介しています。



日本初の女性公認医師 荻野吟子

おぎの ぎんこ



熊谷市出身。東京の病院で婦人科の治療を受けたことがきっかけで女性医師の必要性を痛感し、医師を目指して勉学に励みました。
当時、女性が医師開業試験を受験することは認められていませんでしたが、持ち前の粘り強さで制度改革に取り組み、自ら拓いた試験の道で日本最初の公認女性医師となりました。開業医として熱心に治療にあたったほか、女性の地位向上や衛生知識の普及にも大きく貢献しました。

荻野吟子記念館

荻野吟子の生涯を時代に合わせて説明した年表や資料を展示しています。
建物は、荻野吟子の生誕地に、生家の長屋門を模した瓦葺きの和風建築で造られています。



熊谷市俵瀬581-1 ☎048-589-0004

渋沢栄一翁 ゆかりの地を巡る



43 岩田忠一郎像

岩田忠一郎は当時関東で初めての耕地整理事業を実施。耕地整理記念として、昭和6年9月に鋳金工芸家である森村西三により胸像が作られ、金窪(金久保)神社境内に設置されました。

〈栄一との関係〉
胸像の台座には、栄一によって「烏南岩田忠一郎君像」と書かれています。

42 木村豊太郎君之碑

叔父木村九蔵と競進社を作り副社長となった豊太郎の功績をたたえ、大正7年4月に金窪神社境内に設置されました。

〈栄一との関係〉
栄一が石碑に記されている文章並びに、書体を決めました。

33 農村ミュージアム「かねもとぐら」

農村ミュージアム「かねもとぐら」は蔵を改修して作られました。養蚕に使われていた道具や農具が展示されており、かつて養蚕業で栄えた地域の歴史と文化に触れることができます。

〈栄一との関係〉
栄一の著書など関連書籍が展示してあるほか、高山社根岸分教場や、秋平製糸場に関する資料なども展示されています。



37 旧本庄商業銀行煉瓦倉庫

本庄町最初の銀行として明治27年に設立された本庄商業銀行が、担保用の藪や生糸を保管しておくために明治29年に建設した倉庫です。キングポストトラス構造の小屋組など多くの特徴があり、国の登録有形文化財に登録されています。

〈栄一との関係〉
栄一が設立・運営に携わった日本煉瓦製造株の煉瓦を使用して建築されました。

40 秋蚕の碑

明治時代、富岡製糸場の初代場長の尾高惇忠が、秋も養蚕をするように奨励しました。当時一般的でなかった秋蚕の飼育の普及に旧松久村(現美里町)に住む深沢豊次郎が率先して取り組み、その後全国に秋の養蚕が広まりました。石碑には、秋蚕の由来と業績が記されています。

〈栄一との関係〉
石碑の選文・選書は、尾高惇忠によるものであり、石碑建立の協力者として尾高惇忠・栄一の名が刻まれています。

44 今井屋

創業明治40年。「タレかつ丼」が美味しい老舗の名店です。

〈栄一との関係〉
今井屋の3代目横田富美子さんは、栄一との縁がある家系・益子家の血を受け継いだ父の子である。2代目横田育子さんの夫の甥の嫁にあたります。育子さんが作りあげた味を、今日まで受け継いでいます。

1 旧渋沢邸「中の家」

栄一の生誕地です。現存する主屋は妹夫妻により明治28年に上棟されました。晩年の栄一は血洗島諏訪神社の祭礼にあわせて帰郷するなど、たびたび「中の家」に滞在しました。

〈栄一との関係〉
農業を代々営み、栄一の父親の代には染料のもととなる藍玉の製造・販売を本格的に手掛け、村で1、2を競う富農となりました。

8 尾高惇忠生家

栄一の従兄で学問の師でもある尾高惇忠、栄一の妻となる尾高千代の生家です。江戸時代後期に惇忠の曾祖父が建てたといわれています。

〈栄一との関係〉
幼少期の栄一は惇忠に論語をはじめ四書五経を習うためここに通いました。のちに栄一や惇忠、渋沢喜作らが高崎城乗取り・横浜商館焼き討ちの謀議をしたのもこの建物の2階と伝わっています。(現在2階は非公開)

24 妻沼聖天山

日本三大聖天の一つとして知られ、特に縁結びの靈験あらたかな寺院として親しまれています。安永8年(1779年)に再建されました。本殿「聖天堂」は、日光東照宮を彷彿とさせる本格的装飾建築で、国宝に指定されています。

〈栄一との関係〉
明治32年3月31日に熊谷に立ち寄った際、竹井澹如の別邸(現在の星溪園)を訪れた後、妻沼村聖天宮(妻沼聖天山)を参拝したとされています。

31 長島記念館

埼玉銀行(現在の埼玉りそな銀行)の頭取・会長を務めた長島恭助の生家であり、現在は記念館として主屋や石蔵などが保存されています。

〈栄一との関係〉
記念館には収蔵された美術品も多く、埼玉銀行の創始会社となる武州銀行を設立した栄一の書が3点保管されています。

この地図は国土地理院の「数値地図(国土基本情報)」を使用して作成しました。